

学習内容報告書 フォーマット

学校名	宮古市立重茂中学校
授業者	佐藤 千裕 (コーディネーター)

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

希望学 (重茂・海の探求)

1-2. 学年

2 学年

1-3. 教科 (単元を実施する教科を全てお書きください)

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

- ・ 4月～8月 重茂探求 重茂への愛着の育成
 - ・ 9月 東京大学大槌沿岸センター (海洋研究所) 宿泊研修
 - ・ 9月～10月 宿泊学習のまとめ
 - ・ 2月 奄美諸島高校生とのリモート交流⇒研究テーマの決定
- ※詳細は別紙年間計画による。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

- ・ 3年生で行う「海の」発表を行うにあたって、研究の手法の学習、調査・研究による発見の楽しさを味わう経験の蓄積、地域愛着の心の育成を図る。
- ・ 研究テーマを決定するにあたって、高校生の意見を聞いたり、観点を学んだりすることで関心のあることを研究する上での着眼点を身につける。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・ 様々な課題や困難を乗り越え、夢や希望を持ち、主体的に自己の生き方を考えることができる生徒
- ・ 災害などの困難にも、解決の糸口を見出し、前向きに生きる力
- ・ 自分の将来、重茂の未来 (地域に思いを馳せる人)、社会の未来を語る力と行動力

1-7. 単元の展開 (全 25 時間)

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	重茂探求 重茂の調べ学習を行い、iPad を利用し、発表の原稿を準備する。大槌沿岸センター宿泊研修の中で発表するもの。	東京大学大槌沿岸センター研究員の皆様 担任による着眼点、地域への愛着、発表の進め方指導
12	東京大学大槌沿岸センター宿泊研修 講座①「サケ実習」 講義②施設見学「おおつち海の勉強室」 講義③「塩実習」 講座④「アワビ・ウニ実習」 講義⑤「重茂探検」 講義⑥「サバ缶を考える」	東京大学大槌沿岸センター研究員の皆様 「研究まとめ」による評価
2	宿泊研修のまとめ 関心をもった講義についてのまとめ作成	担任 まとめ方の指導
2	奄美の高校生との交流 磯ラーメン講座 高校生から研究の過程を教わり、来年度の研究の構想を得る。“研究” についての考えを深める。	東京大学大槌沿岸センター研究員の皆様
2	来年度のテーマ決め ・海に関すること ・地域に関すること	担任 研究テーマ指導

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

様々な研究、探求活動に触れることによって、3年次で行う「海の研究」における研究手法、着眼点、調査の楽しさを学習する。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / ●評価の視点（方法）
<p>講座①「サケ実習」</p> <p>サケの鱗を数えることで年齢分析をした。震災による影響があることを学んだ。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・サケの鱗を数えることでサケの年齢を見ていく。 ・2学年「数学」資料の整理との関連 ●研究の整理の仕方について考えているか。 ●グラフを使ってまとめる練習ができていますか。
<p>講義②施設見学「おおつち海の勉強室」</p> <p>施設には海の生物についての資料が多くあった。調査用のウミガメを観察し、海に帰す体験をした。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・おおつち海の勉強室の見学 ・ウミガメと触れ合う。 ●調べ学習の方法を学んでいるか。
<p>講義③「塩実習」</p> <p>塩について学んだ後、実際に塩づくりを経験した。班ごとに協力しながら作った塩を楽しそうに味わった。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・海水をろ過して塩をつくる。 ●実際につくってみることで研究を深めることを学んでいるか。
<p>講座④「アワビ・ウニ実習」</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ・普段家の手伝いで見ている「アワビ・ウニ」を研究として生物学視点で見してみる。 ●生態について学ぶ方法を理解しているか。
<p>講義⑤「重茂探検」</p> <p>地域の探検活動をマップにまとめた。普段何気なく生活している重茂のことを改めて知る機会になった。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に着目する。 ・重茂になる「重茂らしい」ものについて調べる。 ●地域との関わりを考えているか。

<p>講義⑥「サバ缶を考える」</p> <p>サバ缶の誕生した経緯を学ぶことで商品開発の苦労や楽しさを知ることができた。</p>	<p>・岩手で誕生したサバ缶の話から商品開発について考える。</p>
--	------------------------------------

3. 今回の活動の自己評価

2学年を対象にして、東京大学大槌沿岸センター研究員の皆様に協力をいただきながら活動した。家庭の9割が漁業に従事しているという環境の中で育っている生徒が多いが、実際に漁業や魚や海のことについて詳しい生徒は少ない。職業として海を見ることと研究として海を見ることの違いを感じながら講義を受けている生徒が多かった。今後、来年度に向けて各自の研究テーマを見つけて取り組んでいくことになるが、それぞれの興味関心に合う講義を見つけることができ、大変有意義な活動であったと振り返っている。

単元の最後には、奄美の高校生から研究の手法を教えていただいたり、東京大学大槌沿岸センター研究員のみなさんから研究についてのリモート講義を受けさせていただいたりした。生徒の興味関心を掘り下げていきながら個々に合った研究テーマに迫っていきたい。

4. 今後の課題

研究テーマを少しずつ決め、研究活動に取り組もうとしている生徒がでてきているが、重茂地区には調べられる施設が限られている。宮古市立図書館や管内の様々な研究施設に足を運んで、自分の目で確かめたり、実際に現地調査をしたりするには交通費などの面から生徒だけでは厳しいものがある。研究方法の精査とそのため費用等の調整をしていきながら、できるだけ生徒の希望に沿う研究手法で研究を進められたらと考えている。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。